

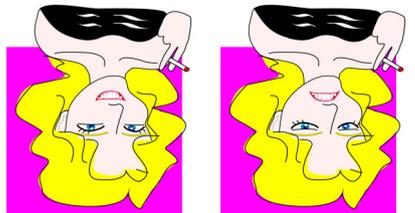
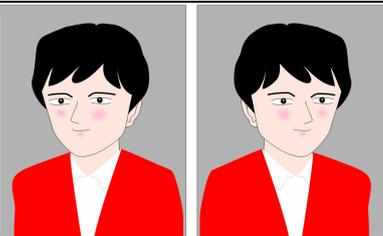
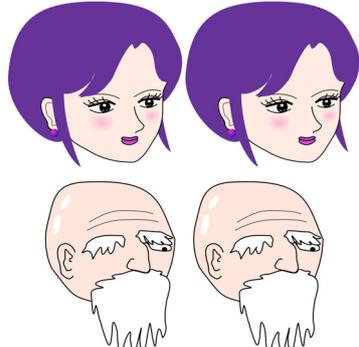
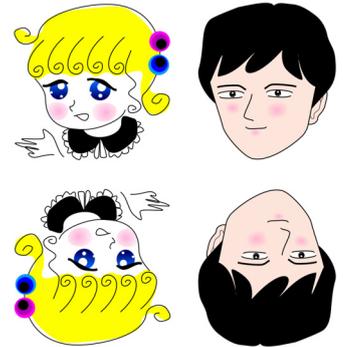
第 A04 領域 (計画 or 公募 班員)

研究課題名	顔の錯視の探索的研究		
班員名	北岡 明佳	E-Mail	akitaoka@lt.ritsumei.ac.jp
所属・職名	立命館大学文学部・教授		

要旨 (図表も可)

錯視は、形、色、明るさ、運動、立体、空間などの視覚の諸属性にわたって見られるが、近年その独立性が確立された顔という属性における錯視研究は少ない。本研究では、顔の錯視に本格的に取り組むことを目的とする。具体的目標は、未知の顔の錯視の発見に努め、顔の錯視の種類を現在より研究期間終了までに倍増させることである。さらに、それぞれの顔の錯視の定量化と個人差の測定を行ない、今後の顔の錯視研究の基礎資料を作成する。また、機能性のあり・なし軸や、形・色・運動などの属性軸を基準として、顔の錯視の分類を行なう。

以下に、これまでに知られている顔の錯視の例を示す。

 <p>「顔ガクガク錯視」…図のように目を4つ、口を2つに増やすと、顔の知覚像が上下にガクガクして見える静止画が動いて見える錯視。文献を調査中。</p>	 <p>ウオラストン錯視 (Wollaston, 1824) …左の顔の両目は右の顔の両目と同じに描かれているが、左の顔はこちらを見ているように見え、右の顔はその人物にとって右を見ているように見える。</p>	 <p>サッチャー錯視 (Thompson, 1980) …笑顔の目と口をさかさまにして、顔全体をさかさまにしてもあまり違和感がないが(右図)、正立顔に戻すと奇妙な顔に見える。</p>
 <p>ホロウマスク錯視 …お面を裏から見ても(下の写真)、顔が観察者の方向に出っ張っているように見える (Schröder, 1858)。</p>	 <p>充血錯視 (Ando, 2002) …白目の部分を暗くすると、暗くした方向に視線がずれて見える。</p>	 <p>目の大きさ錯視 …左右の画像では目は同じである。しかし、左の画像では右目が左目よりも長く、右の画像では左目が右目よりも長く見える(両目は実際には同じ長さである)。<左の画像では両目が水平に並んでいるように見えるが、右の画像では左目が右目よりも高い位置にあるように見える錯視もある。></p>
 <p>「顔ジャストロー錯視」…同じ大きさの顔を上下に置くと、下の方が大きく見える。</p>	 <p>「斜め顔の大きさ錯視」…左右2つの顔は同じ大きさであるが、右の顔が大きく見える。</p>	 <p>さかさま顔の過大視 …顔をさかさまにすると大きく見える。</p>